

令和3年度進行管理・評価シート
掛川市歴史的風致維持向上計画（平成30年1月23日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画法との連携	2
2 景観計画との連携	3
3 屋外広告物の制限	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的街並み調査事業	5
2 歴史的風致形成建造物の保全・活用事業	6
3 松ヶ岡(旧山崎家住宅)保存修理・活用事業	7
4 横須賀城跡復元・活用事業	8
5 高天神城跡復元・活用事業	9
6 高天神六岩「中村砦」保存・活用事業	10
7 郷土芸能・伝統行事伝承事業	11
8 三熊野神社大祭調査研究事業	12
9 祭典伝承PR事業	13
10 葛布産業振興支援事業	14
11 茶手揉み技術伝承事業	15
12 掛川茶マイスター認定制度推進事業	16
13 重要文化的景観の調査研究事業	17
14 掛川道德の学習推進事業	18
15 城下町風街並みづくり事業	19
16 横須賀景観整備機構運営支援事業	20
17 掛川城周辺電線地中化、道路美化化及び 街路灯修景事業	21
18 横須賀街道電線地中化及び美化事業	22
19 粟ヶ岳周辺における景観形成推進事業	23
20 郷土読本作成事業	24
21 文化財展の開催事業	25
22 市内の歴史・文化資産のガイド養成事業	26
23 掛川銀行復元・活用事業	27
24 サイン・案内板設置事業	28
25 レンタサイクルの推進事業	29
26 掛川公園と周辺整備事業	30
27 「土の掛川城、農の報徳社、町人の松ヶ岡」 周遊道路整備事業	31
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査、保存管理(活用)	32
2 文化財の修理、周辺環境整備	33
3 文化財の普及・啓発、防災訓練、団体との連携	34
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	35
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光の振興	36

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 37

評価軸①-1
組織体制

項目	現在の状況
計画の推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に係わる都市政策課と文化・スポーツ振興課を中心とし、各事業担当課との連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。
 また、国や静岡県と協議し、助言や支援を得るとともに、掛川市歴史まちづくり協議会と協議し、計画の円滑な実施や計画変更を推進していく。
 さらに、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図りつつ、掛川市文化財保護審議会などへ報告し、助言を得ていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

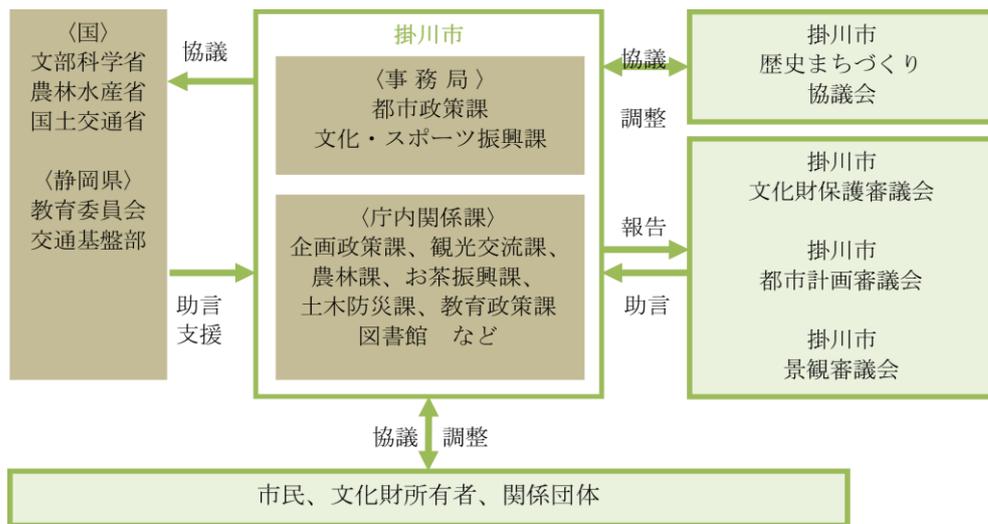
計画策定時の体制を維持し計画的な推進を図った。
 令和2年度より、文化財の保護に関する事務を教育委員会から市長部局へ移管し、文化財をまちづくりに活用することで地域の活性化を促進することとした。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

(計画書P.191)



掛川市歴史的風致維持向上計画 推進体制

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
都市計画法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 用途地域の指定状況を踏まえた上で、適切な土地利用の誘導により、周辺環境との調和に努める。特に価値が高いと判断された建造物群で、保存措置が必要な場合は、伝統的建造物群保存地区の制度の活用も検討していく。「掛川城下地区」では、「掛川市城下町風街づくり地区計画」等により、引き続き歴史的風致と調和した良好な市街地環境の形成を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成6年(1994年)決定の「城下町風街づくり地区計画」に基づき、掛川駅北地区における城下町風街づくりの推進及び健全な都市景観の形成を図った。
 平成6年度から届出実績延べ67件(令和3年度実績なし)

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.200~P.202)



城下町風街づくり重点地区(大手門周辺)



城下町風街づくり重点地区(掛川城南側)

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

景観計画との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------	---

計画に記載している内容
掛川市景観計画に基づき、市全域の景観形成の方針と行為の制限を行う。「横須賀城下地区」の一部で指定している「遠州横須賀街道沿道景観形成重点地区」の効果を隣接地域にも波及しており、今後は、景観形成重点地区の拡大についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年(2014)に指定した「遠州横須賀街道沿道景観形成重点地区」に基づき、建築行為に地区の特性に応じた規制誘導を行った。平成26年度から延べ12件(令和3年度実績4件)

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.202~P.204)



古民家を改修した店舗



景観に配慮した新築住宅と街並み

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度
屋外広告物の制限		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 屋外広告物条例の周知や屋外広告物の指導に努めるとともに、本市独自の屋外広告物条例の制定に向けて検討を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「静岡県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物に対し規制誘導及び設置許可を行った(令和3年度 354件)。本市独自の屋外広告物条例は、県条例に基づく違反屋外広告物の指導を進めたうえで、制定に向けた検討を進める。

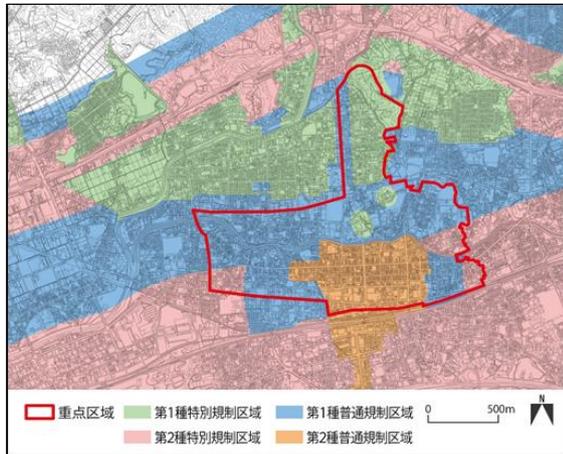
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

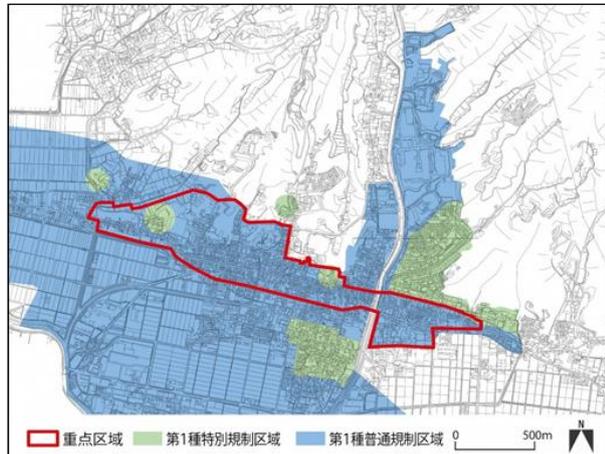
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

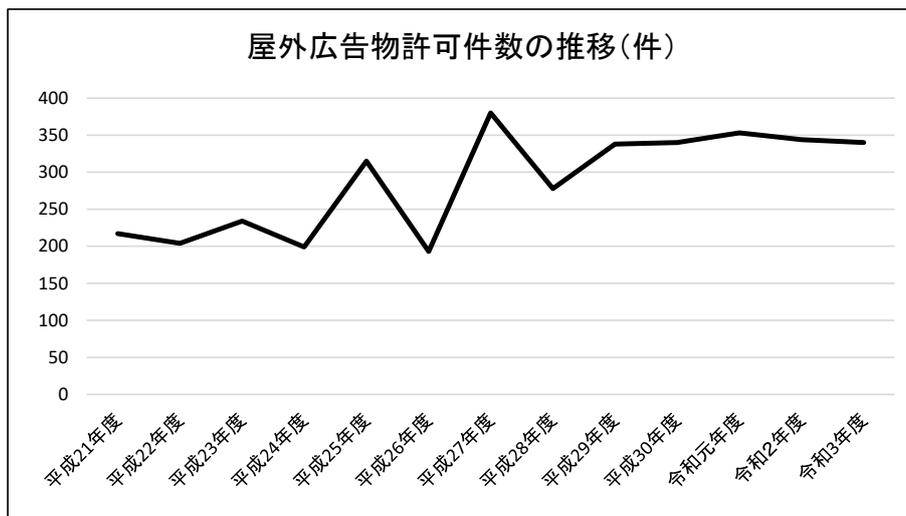
(計画書P.204～P.206)



「掛川城下地区」の規制区域



「横須賀城下地区」の規制区域



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
	現在の状況	
歴史的街並み調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内各所に歴史的な建造物が残っているが、十分な整理がされていないため、建築様式や建築時期などの調査を行い、掛川市景観計画に基づく景観重要建造物及び文化財への指定を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

掛川市伊達方にあり、掛川町長、掛川市長を歴任した鈴木理一郎氏が育った旧家・鈴木家の住宅の13棟の建造物が、国土の歴史的景観に寄与しているものと評価され、令和3年6月24日に国の登録有形文化財に登録された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.222)



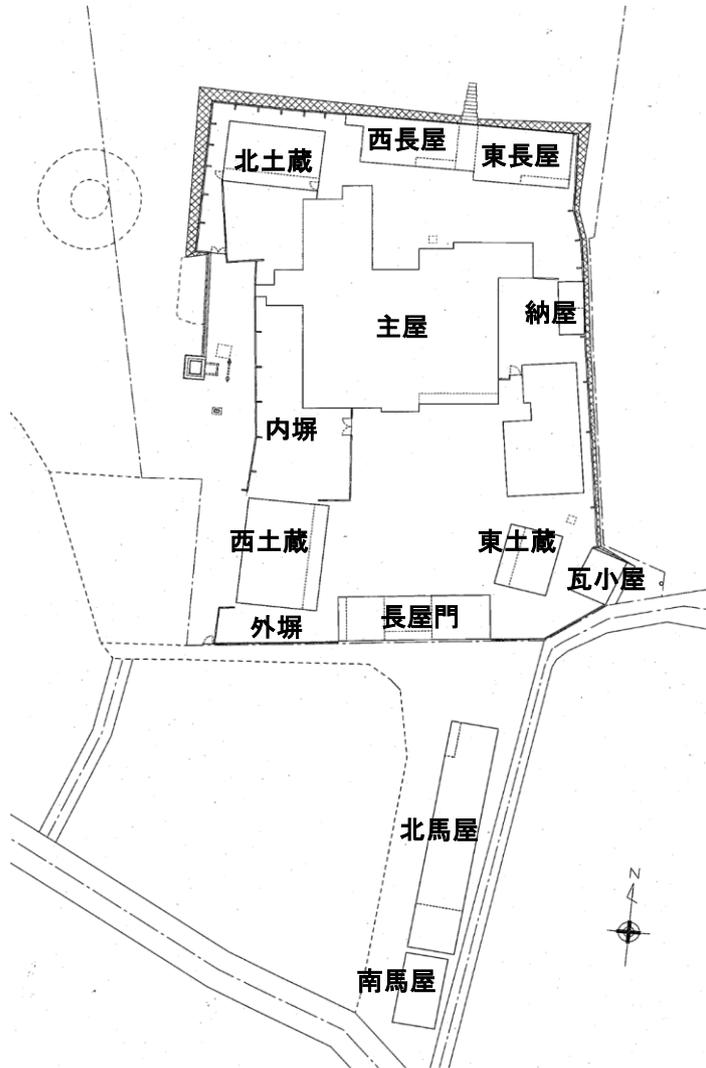
鈴木家住宅 主屋



鈴木家住宅 長屋門



登録プレート



鈴木家住宅 配置図

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
歴史的風致形成建造物の保全・活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業、街なみ環境整備事業)及び市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内に所在する歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき指定した建造物において、維持保全及び文化・観光資源としての活用を図るために、必要に応じて現況調査、補修などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年4月1日に、松ヶ岡(旧山崎家住宅)を歴史的風致形成建造物に指定し、大規模修復工事を進めている。令和3年度は屋根瓦の葺き替え工事等を進めた。
 また、令和3年3月24日に歴史的風致形成建造物に指定した掛川城天守、石垣については、歴史的風致の維持向上を図るため、一部剥離や黒ずみ等が見られる天守漆喰壁を塗り替えるとともに、腐食や褪色が見られる廻縁・高欄の修復の実設計を行った。
 (掛川城天守閣修復景観整備工事:令和3年度:実設計、令和4年度:景観整備工事)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.223)

掛川市歴史的風致形成建造物 指定台帳	
指定番号	第2号
指定年月日	令和3年3月24日
名称	掛川城天守、石垣
所在地	掛川市掛川1138番地の24
規模	敷地面積 30835.47㎡(掛川城公園) 延床面積 304.96㎡
所有者(所有者の住所)	掛川市(掛川市長谷一丁目1番1号)
指定の理由	<p>掛川城は、平成6年に日本初の本格木造天守閣として復元され、城下町として栄えた歴史が140年の時を経て再現された。</p> <p>城下町風街づくりの中核的存在であり、白漆喰の真っ白な外観は京都聚楽第の建物に、黒塗りの廻縁・高欄は大阪城天守閣にならったと考えられ、天守の美しさは「東海の名城」と謳われたように、建築物の外観が景観上の特徴を有す。</p> <p>このことから、掛川市の歴史的風致の維持及び向上に必要なものであるため、歴史的風致形成建造物に指定する。</p>
現況の写真	

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
松ヶ岡(旧山崎家住宅)保存修理・活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業、街なみ環境整備事業)及び市単独事業

計画に記載している内容 掛川藩御用達を勤めた豪商山崎家の住宅(松ヶ岡)の修復を行う。また、重要文化財指定を目指すとともに、地域の発展を伝える施設等として活用していく

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度から進めている大規模修復工事について、令和3年度は屋根瓦の葺き替えなどを進めた。松ヶ岡の建物や歴史、地域発展に寄与した山崎家の功績等の周知のため、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、毎月第4土曜日に一般公開を実施・継続し、松ヶ岡の文化的価値を発信することに寄与した。松ヶ岡に愛着を持ってもらうため、工事で使用する瓦の裏に名前やメッセージなどを記入してもらう企画を実施した。(令和2年度～:修復工事)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

修復費用は寄附金で賄うため、引き続き周知・啓発を進め、寄附金を募っていく。

状況を示す写真や資料等

(計画書P.224)



屋根工事の状況



一般公開の様子



建物内部の工事の様子



小学生がメッセージなどを記入した瓦

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
横須賀城跡復元・活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～令和8年度

支援事業名 史跡等購入費国庫補助金、静岡県文化財保存費補助金

計画に記載している内容 現在は史跡指定地内の公有化を主に進めているが、未整備の部分については整備基本計画に基づき、発掘調査を行い、基本設計、実施設計を作成した後、整備を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

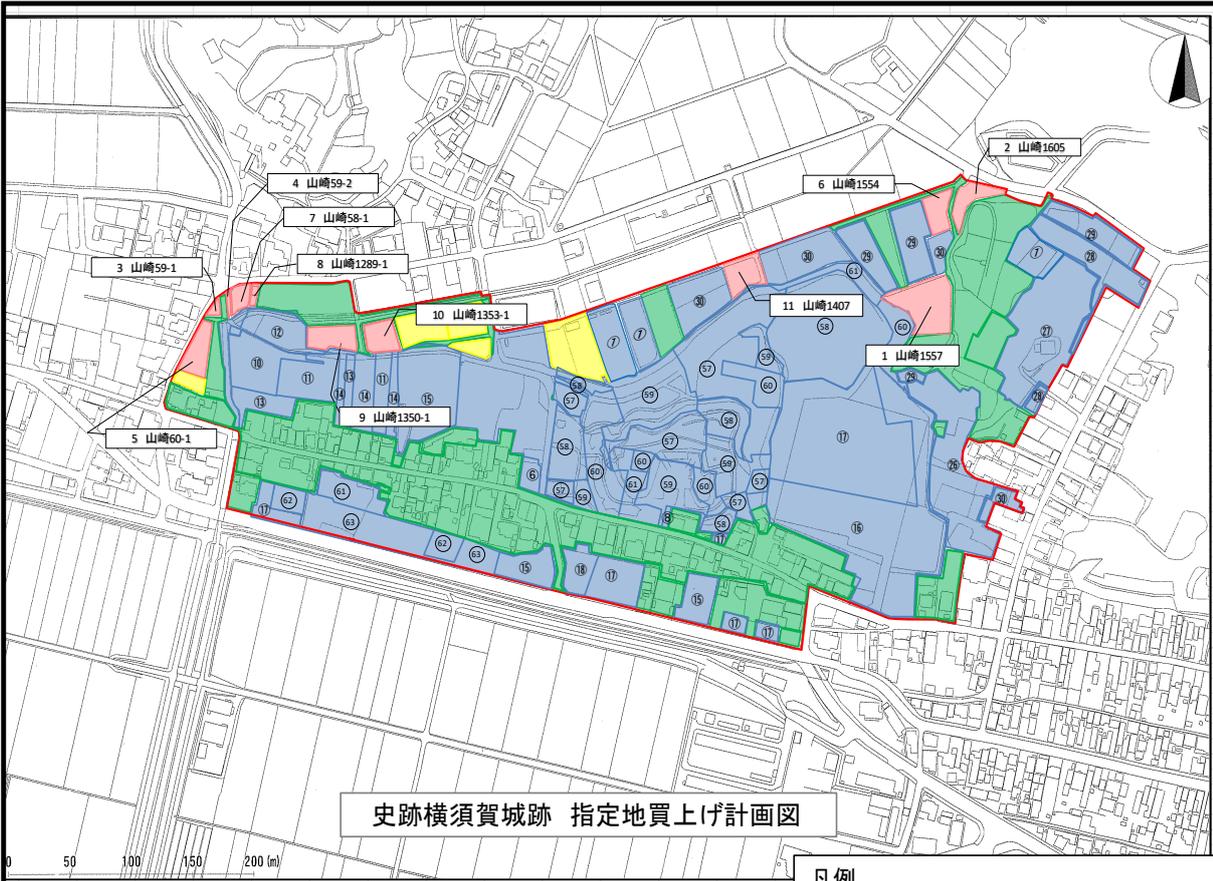
史跡指定地内の公有化を実施し、11筆、6,074㎡の土地を取得した。公有地の面積は124,094.50㎡となり、史跡指定地面積の74.0%が公有化された。
策定されている整備基本計画の見直しについて、整備委員会を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 市内には横須賀城跡の他に2つの史跡があり相当な時間と費用がかかることから、整備スケジュールを調整し計画的に推進していく。

状況を示す写真や資料等

(計画書P.225)



凡例

■	令和3年度公有化地点
■	令和2年度公有化地点
■	令和元年度以前公有化地点
■	未公有化地点

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
高天神城跡復元・活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成10年度～令和8年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金、静岡県文化財保存費補助金及び市単独事業

計画に記載している内容 基本整備計画に基づき、発掘調査終了部分については、基本設計、実施設計を作成した後、整備を進めていく。それと並行して、未調査部分の発掘調査を実施していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は令和2年度に引き続き、遊歩道の補修および史跡内の老朽化の激しい案内標柱の交換を行うことで歴史的風致の維持向上に寄与している。(市単独事業)
(実施: 令和4年2月)

進捗状況 ※計画年次との対応

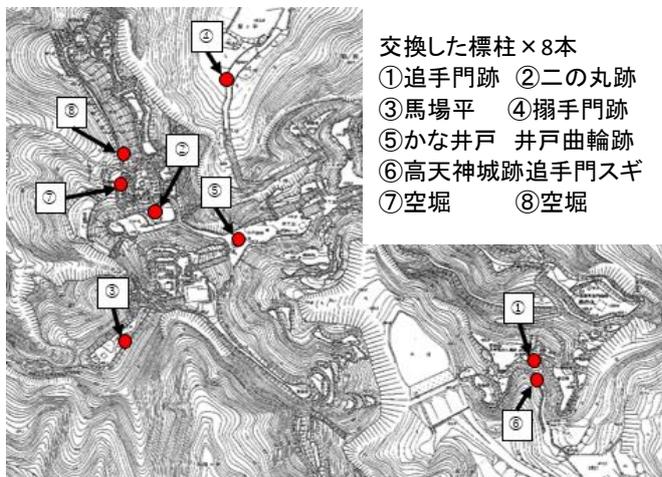
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内には高天神城跡の他に2つの史跡があり相当な時間と費用がかかることから、整備スケジュールを調整し計画的に推進していく。

状況を示す写真や資料等

(計画書P.226)



遊歩道整備箇所



標柱整備箇所



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
高天神六砦「中村砦」保存・活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	中村砦敷地の一部を市が買収、残りの用地を寄附受領した。地域住民が中心となり竹等を伐採し、環境整備が始まった。史跡として保存し、市と地域が協働により活用していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域住民が中心となって組織された、中村砦城山保全会による環境整備が行われ、平成29年度から木竹の伐採、園路の整備を実施している。令和元年度は広場に芝生を植え付け、地域の憩いの場として整備をし、令和2年度は案内看板を2か所設置した。令和3年度はコロナ禍の影響もあり、草刈り伐採等を中心に維持管理活動を実施した。砦の地形が良く見えるようになり、来訪者数も増加している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.227)			
			
中村砦遠景		令和2年度設置の看板	
			
草刈り作業			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
郷土芸能・伝統行事伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 貴重な郷土芸能や伝統行事の保存伝承のための維持管理と後継者指導養成研修などの事業費の一部を補助する。また、郷土芸能等の様子を留め、後世にもその姿を知ることができるよう、報告書を作成し記録として残す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため祭典等の行事は中止したが、保存伝承や後継者指導養成のための活動は継続した。静岡県指定無形民俗文化財である、「獅子舞かんからまち」、「大東町八坂神社の祇園囃子と祭礼行事」の保存会に対して、保存伝承や後継者指導養成活動に対する事業費の一部を補助した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.228)



獅子舞かんからまち



大東町八坂神社の祇園囃子と祭礼行事

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
三熊野神社大祭調査研究事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、静岡県文化財保存費補助金

計画に記載している内容 県指定の無形民俗文化財である「三社祭礼囃子」及び「三熊野神社の地固め舞と田遊び」の保存伝承のための維持管理と後継者指導養成研修などの事業費の一部を補助する。また、江戸時代の祭りが色濃く継承されていると考えられているが、文化財としての価値が一部明確になっていないため調査研究を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

静岡県指定無形民俗文化財である、「三社祭礼囃子」、「三熊野神社の地固め舞と田遊び」の保存会に対し、保存伝承と後継者指導養成の為に事業費の一部を補助した。
 平成30年度に国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択された「三熊野神社大祭の杵里行事」の民俗文化財調査について、令和2年度から5年計画で、国庫補助金を活用し実施している。
 令和3年度は、地域住民への杵里の巡行に関する聞き取り調査や、人形等の調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年、3年の杵里曳き回しが中止されたため、大祭調査を実施することができなかった。

状況を示す写真や資料等

(計画書P.229)



杵里の巡行に関する聞き取り調査



人形調査



幕調査

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
祭典伝承PR事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 祭典等行事の説明板等を周囲の景観と調和するように設置し、伝統行事として理解を深めつつ、交流人口の増加を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は、掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、「掛川城周辺地区公共サイン整備方針」を策定した。また、整備方針に基づき庁内各課と協議の上、既存サインを含めた今後の整備内容を決定し、実施設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.230)評価軸③-24参照:サイン・案内板設置事業

3 適用範囲

本方針の適用範囲は、対象区域内において掛川市及び公共施設管理者が道路、公園等に設置する歩行者用の案内サイン、誘導サインとする。

ただし、掛川市が標識会に基づき設置する標識及び国、県等の公共施設管理者が設置する道路標識設置基準等に規定された標識標や、駅構内の独自のサインシステムにおける案内誘導サインなど、すでに一般に広く利用されており、本方針を適用することが難しいものは適用の範囲から除外する。

案内サイン	・地図を活用して現在地や施設等の位置情報を提供する
誘導サイン	・矢印により、地名・地点や施設の方向、距離等を指示する
位置サイン	・名称やピクトグラムにより、施設などの位置を告知する
説明サイン	・施設等の内容を説明する
規制サイン	・歩行者等の行動を規制する

4 運用方法

庁内関係課及び公共施設の管理者は、公共サインを設置しようとする場合、施工前に事前に掛川市都市建設部都市政策課と協議することとする。

都市政策課は、本書に明記している事項と適合しているか否かについて確認し、必要に応じて助言指導する。判断が難しい場合、掛川市景観審議会に意見を求めることもできることとする。

```

            graph TD
            A[サインの設置者  
(庁内関係課・公共施設の管理者)] <-->|設置計画協議| B[掛川市都市建設部  
都市政策課]
            B -- 相談 --> C[掛川市景観審議会]
            
```

1

サイン基本方針
(抜粋:運用)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
葛布産業振興支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 葛布の需要開発の考察や葛の多方面での利用の調査・研究、葛布の理解を深め後継者の発掘につなげる体験事業、安定的な原料供給と耕作放棄地での栽培等の研究・調査を行う。また、葛布の文化的価値や葛の利活用を市内外に発信し、誘客や消費の拡大を図り後継者の発掘、育成や地域経済の活性化に繋げる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度に設立した「葛布活用コンソーシアム」の活動として、葛布の魅力を発信するために賛同団体である多摩美術大学の協力を得て、葛布壁紙を使用したキャンパスで学生に美術作品を制作してもらい、市役所本庁舎にて展示会を実施した。報道機関にも取材してもらい、内外に広く情報発信することができた。また、葛布の後継者育成費用に充てるため、葛を利用した工業製品を使用する環境貢献活動の取組として葛の名刺台紙を賛同団体へ販売しており、市役所においても職員向けに常時販売を行った。

(※例年実施している葛布づくり体験ツアーは新型コロナウイルスの影響により中止した)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

(計画書P.231)



市役所本庁舎で開催した展示会
(葛布アートギャラリー)

地球環境保護を目的とする
地元特産の葛を活用した名刺で掛川をPRしませんか

掛川観光名刺台紙デザイン (掛川産葛使用)

¥500 (台紙代・税込)

A

B

C

D

E

F

G

H

I

掛川観光協会

葛を利用した紙を使用した名刺台紙

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
茶手揉み技術伝承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 手作業でしかわからない、茶の手揉みによる良質な荒茶製造技術を伝える。また、地元の幼稚園や小学校の生徒たちに茶摘み体験や手揉み体験の機会を設け、市を代表する伝統産業である茶への理解を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内小学校を中心に、茶の手揉み技術伝承と茶について学習会を行い、継続的に子どもの茶への関心と理解を深めている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。研修会や品評会出品茶の製造等を行い、技術の研鑽を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等

(計画書P.232)

掛川茶手揉保存会

実施日	内 容	出席者
令和3年 令和2年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手揉技術実演の活動は中止	

実施日	内 容	出席者
令和元年	手揉技術実演	掛川市内小学校11校

大城手揉み保存会(後継者養成事業)

実施日	内 容	出席者
令和3年 令和2年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お茶の手揉体験教室は中止	

実施日	内 容	出席者
令和元年	高天神新茶手揉み	10名
	高天神例大祭新茶祭り手揉み実演	5名
	お茶の手揉み体験教室	小学校3校143名

茶の手揉み技術伝承と茶について学習会 実施状況

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
掛川茶マイスター認定制度推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 お茶の知識や掛川のお茶に深く精通し、掛川茶を美味しく淹れることができるスペシャリストを「掛川茶マイスター」に、その人が携わる店舗を「おいしい掛川茶が飲める店」に認定する。さらに、美味しい掛川茶マップの作成、美味しい掛川茶が飲める店スタンプラリーなどを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成22年から始まった「掛川茶マイスター」認定制度は、現在79名が認定され、37店舗でマイスターが淹れたお茶を飲むことができる。平成29年度から平成30年度にかけてスタンプラリーを実施した。(令和3年度は認定実績なし)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

マイスターが入れたお茶を飲むことのできる店舗の紹介は、ホームページで継続的に実施しているが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新規認定を行っていない。今後は状況に応じて方法を検討していく。

状況を示す写真や資料等

(計画書P.233)



掛川茶マイスターが淹れる掛川茶が飲める店MAP
 (掛川茶商協同組合HP)
<http://www.kakegawa-cha.com/meister.html>

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
重要文化的景観の調査研究事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 世界農業遺産認定地域を対象に、文部科学省が所管する重要文化的景観の選定に向けた調査研究を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年5月7日には、制度の概要と運用における留意事項、保護の課題とその取り組み事例等についての知見を得るため、文化庁文化財第二課主催の文化的景観保護実務研修会に参加した。また令和3年5月12日には、重要文化的景観に関する基本的知識を得るために、文化庁調査官とのオンライン協議を実施した。
 静岡県文化的景観総合調査事業が静岡県事業として令和2、3年で実施され、地元との調整、現地調査補助を行った。
 今後、静岡県の調査結果をもとに、地域住民と協議の上、選定に向けた検討を進める。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.234)



候補地の状況(東山地区)



静岡県による文化的景観現地調査の様子

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

Table with 2 columns: 項目 (Project) and 令和3年度現在の状況 (Current Status). Project: かけがわ道德の学習推進事業. Status: 実施済, 実施中, 未着手.

Table with 2 columns: 事業期間 (Project Period) and 支援事業名 (Support Project Name). Period: 平成29年度～令和8年度. Name: 市単独事業.

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市ならではの題材や人材を活用し、学校の教育活動全体を通じて行う道德教育を「かけがわ道德」とし、小中学生を対象に、歴史や文化等を通じて郷土を誇る心を育てている。市内全小中学校において、年間35時間の道德のうち、10%程度を「かけがわ道德」として扱い、郷土読本(副読本)を活用したり、大日本報徳社などの施設に出向いたりなど、地域の偉人、歴史や伝統等を学び、地域に興味と誇りを持つ機会とした。(小・中学生、幼稚園児訪問実績 R3:27校・642名、R2:10校・595名、R1:24校・1415名、H30:26校・2,170名)

進捗状況 ※計画年度次の対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

Table with 2 columns: 計画どおり進捗している (Progressing as planned) and 計画どおり進捗していない (Not progressing as planned).

状況を示す写真や資料等

(計画書P.235)



使用副読本

かけがわ道德構想図 (Conceptual Diagram of Kakegawa Moral Education). Includes sections for '夢に向かって、自ら考え、自ら判断し、心豊かにたくましく生きる子ども育成', '【掛川の子どもの各分野】', '【掛川市教育委員会の取組】', '「かけがわ道德」の推進', and '人間関係を育む心の教育'.

かけがわ道德構想図

新3学年 かけがわ道德授業案

Table with 3 columns: 主眼点 (Main Points), 資料 (Materials), 学習活動 (Learning Activities), and 留意点 (Points to Note). Details a lesson plan for 3rd grade students.

授業案(一例)

かけがわ道德年間計画 (Annual Plan for Kakegawa Moral Education). Table with 4 columns: 年度 (Year), 教科書 (Textbook), 項目 (Items), and 担当 (Responsible). Lists activities for elementary school students.

年間計画(一部抜粋)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
城下町風街並みづくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成3年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地区計画区域において、建築物の修景に要する費用の助成、中心市街地活性基本計画等との整合を図り、同地区の城下町風街づくりを推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
都市計画法に基づく「城下町風街づくり地区計画」と連携し、掛川城を背景とした街並みの形成を図るため、建築行為等において、基準に適合するものに対し、100万円(対象事業費の1/2)を上限に補助する。平成3年度から延べ95件(令和3年度実績なし)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.236)			
			
補助事例(清水銀行)		補助事例(民間店舗)	

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
横須賀景観整備機構運営支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 景観形成重点地区において、建築等の行為の際に、外観のデザイン等について、地域住民等で構成される横須賀景観整備機構の審査や助言を受けることにより、地域に合った景観を保全していく。現在は任意団体であるが、景観法に基づく指定を目指し、地域住民が主体となった景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「遠州横須賀街道沿道景観重点地区」において、建築行為が計画された際には、「横須賀景観整備機構(任意団体)」による建築物の外観デザイン審査が行われ、協議が整ったもののみ、市に景観形成重点地区行為届出書が提出される仕組みが取られている。横須賀景観整備機構と連携し、当該地区の街並みの維持が図られた。平成26年度から延べ11件(令和3年度実績3件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

(計画書P.237)



認定式(平成26年)



発足式(平成28年)



啓発パンフレット・ステッカーの配布



ステッカー

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
掛川城周辺電線地中化、道路美化化及び街路灯修景事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 掛川城周辺において、歴史的な街並みに調和した空間の整備を図るため、電線地中化及び道路修景整備を実施し、景観形成を行うとともに城内の賑わいを取り戻し観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大手門周辺の道路美化化工事に着手、令和4年度に完了予定。掛川城周辺の無電柱化事業の概略設計を実施、令和4年度に詳細設計を実施予定。
 (道路美化化: 令和2年度: 実施設計、令和3年度: 整備工事 L70m、令和4年度: 整備工事 L70m)
 (無電柱化: 令和3年度: 予備設計、令和4年度: 実施設計、令和5～6年度: 整備工事)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

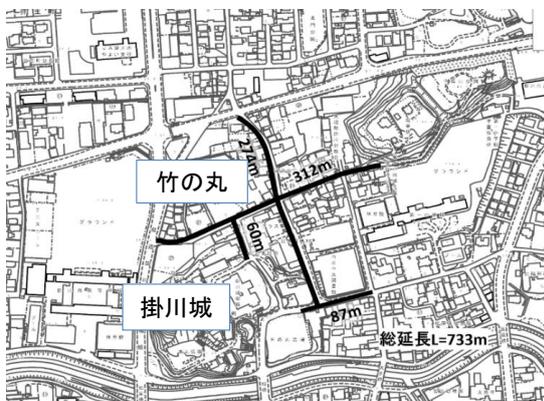
(計画書P.238)



道路美化化前



一部道路美化化が完了した箇所
(大手門交差点)



無電柱化予定位置図

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
横須賀街道電線地中化及び美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 掛川市景観形成重点地区の横須賀街道において、歴史的な街並みに調和した空間の整備を図るため、無電柱化、道路舗装の美装化及び道路構造物(道路側溝等)の改修を行い、景観形成と観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路舗装の美装化や無電柱化を含むまちづくりに関する意見交換を景観形成重点地区5自治区の住民と行い課題の整理を行った。来年度以降、より具体的な意見交換を進め、整備方針を検討していく。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.239)

遠州横須賀街道沿道地区をより住みやすい地区にするための調査がはじまりました

横須賀地区では、「祇屋の似合うまちなみの保全継承」などをテーマにまちなみを中心としたまちづくりが進められてきました。一方で、少子高齢化による空き家や空き地の増加、道路の舗装劣化や、より良好なまちなみの形成のために無電柱化への期待などいくつかの問題や課題が挙げられます。

本地区において、より住みやすい地区づくりを進めていくためには、地区の現状や課題をしっかりと把握して、総合的に改善のための取組みを進めていく必要があります。

そこで、本年度は、掛川市景観計画で指定されている遠州横須賀街道沿道地区(十六軒町、新屋町、東本町、中本町、西本町)を対象として、地区の問題や課題について聞き取り調査を実施しましたので、その結果をご報告いたします。

■聞き取り調査の進め方

遠州横須賀街道沿道の5町(十六軒町、新屋町、東本町、中本町、西本町)を対象に町毎にお話しを伺いました。

- 西本町 7月18日(日) 19:30～
- 新屋町 7月25日(日) 19:00～
- 十六軒町 7月26日(月) 19:00～
- 東本町 7月28日(水) 19:30～
- 中本町 8月1日(日) 19:00～

■主な聞き取り事項

- ・無電柱化について
- ・道路の現状について
- ・空き家・空き地について
- ・横須賀地区の将来像について
- ・その他



聞き取り調査の様子(西本町)

1

－ 聞き取り調査の結果概要 －

※町毎に聞き取りした主な内容をとりまとめた結果です。

◇無電柱化について

・電柱を無くし、電線を地中に埋める無電柱化工事をする場合、道路改修と一緒に進めることが効率的である。しかし、事業費の増加や工事期間の長期化が想定されることから、先ずは道路改修を優先的に進めてほしいという意見が出されました。

・ただし、横須賀街道として相応しい景観をつくりたいこと、また、過去に車道にはみ出した電柱によって交通事故が発生したことがあるため、予算が確保できるのならば、道路改修と一緒に無電柱化を進めてほしいという意見が出されました。



道路にはみ出ている電柱の様子

【横須賀街道の無電柱化後のイメージ】

・横須賀街道で無電柱化を行った場合のイメージ写真を作成してみました。



2

意見交換会報告資料 抜粋

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
粟ヶ岳周辺における景観形成推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 農業用施設の色彩等の配慮すべき事項、茶草場農法や魅せる農業の推進などを盛り込んだ景観計画を、東山地域の住民と意識共有しながら策定する。また、ビュースポットからの眺望を阻害する電柱移転や防霜ファン of 色彩調和、粟ヶ岳登山道のガードレールの改善を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地元住民が茶草を使って干支を作り上げ来訪者をもてなしたり、ビュースポットから望むことができるブルーライトアップの実施、登山道中腹に地元産の木をつかって美しい茶園を見渡すことができる東屋を設置したことにより、市民や観光客の景観への関心を高めることに寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

粟ヶ岳山頂へ続く車道は道幅が狭く、すれ違いが困難なため、多くの車両事故が起きている。警察と担当課で現状調査をし、注意喚起を呼びかける看板の作成やHP等で麓からのハイキングによる登頂を促すなどの対策を実施した。ハイキングによる登頂を促す仕組みづくりや、混雑が見込まれる日には片側通行の実施など引き続き対応する必要がある。

状況を示す写真や資料等

(計画書P.240)



登山道中腹に設置された東屋



乾燥した茶草で作られた干支



ビュースポットから望むブルーライトアップ



道路狭小箇所への注意喚起看板

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
郷土読本作成事業		

事業期間 継続事業

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内小中学生を対象に、掛川の歴史、伝統文化や郷土の偉人を学び、地域に興味と誇りを持つ学習を継続的に行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小中学生を対象に、令和4年4月に更新する郷土読本「わたしたちの掛川市」とともに、「新・わたしたちの掛川市(歴史編)」、「この人に学びたいー郷土の偉人ものがたりー」及び「なるほどなっとく金次郎さん」と合わせ、授業で活用することにより、本市の歴史等に誇りと興味を持つ学びを深めた。

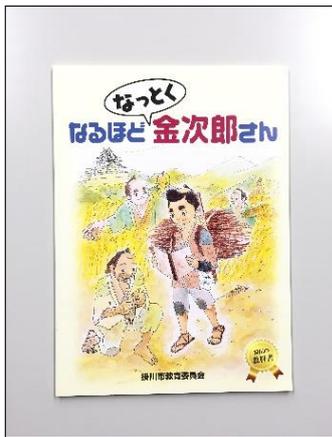
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

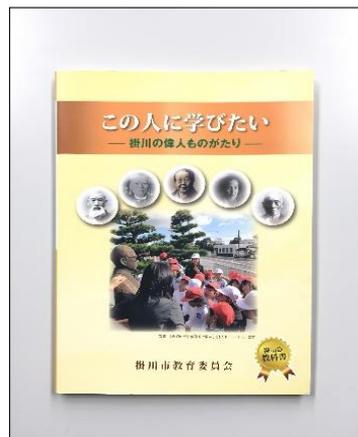
計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

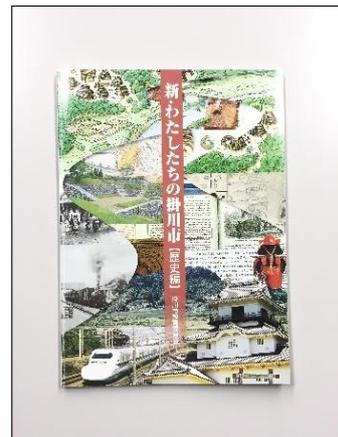
(計画書P.241)



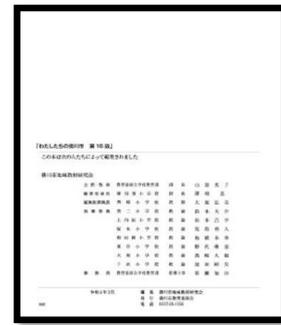
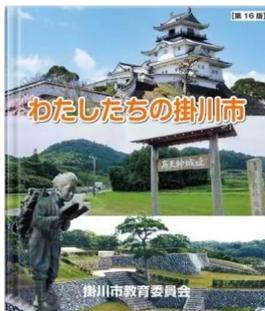
なるほど なっとく 金次郎さん



この人に学びたいー郷土の偉人ものがたりー



新・わたしたちの掛川市「歴史編」



わたしたちの掛川市(令和4年4月更新)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財展の開催事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民が文化財を身近に感じ、郷土の歴史・文化・文化財についての理解を深めてもらうため、一般市民を対象とした「出土文化財展」、「考古展」及び遺跡の現地説明会、小・中学生を対象とした「出前文化財講座」及び「夏休み文化財教室」を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度に開催した文化財展等の期間等及び参加人数
 出土文化財展(11日間、754人)、出前文化財講座(4校6学級、133人)、
 夏の文化財教室(1日間、15名)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	出土文化財展(5日間)、考古展(5日間)と年間2回の展示会を開催していたが、令和元年度から出土文化財展の期間を延長し、展示会の開催を年1回とした。
-------------------------------	---

状況を示す写真や資料等

(計画書P.242)



出土文化財展
(令和3年6月30日～令和3年7月11日)



出前文化財講座「中小学区の遺跡」
(令和3年6月17日)



夏の文化財教室「歴史体験！スタンプラリー」
(令和3年7月31日)

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
市内の歴史・文化資産のガイド養成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史・文化資産の案内ガイドを養成し、観光客への案内が容易に出来る人材育成に取り組むとともに組織化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
掛川観光ボランティアガイド「猫の手の会」が先進地視察を行うことでボランティアガイドの養成をし、観光客の利便性や、満足度の向上につなげている。実施日:令和4年1月22日(土) 研修先:森町 その他、ボランティアガイドによるおもてなしウォークを実施している。 (令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。下記チラシデータは令和2年度のものの。)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新規会員の募集は随時行っているが会員数は横ばいである。また、会員の高齢化に伴い案内できるガイドが固定化してきている。 自らが住む地域の歴史を知ることが郷土愛や誇りの醸成につながることから、市民ボランティア等を養成する歴史講座を実施したり、学校協力のもと、子ども向けの歴史や地域学習の機会を設けるなど検討をしていく。(掛川市観光振興計画より)		

状況を示す写真や資料等

(計画書P.243)



先進地研修の様子

富士山の日 おもてなしウォーク

徳川秀忠の生母(西郷の局)ゆかりの地を歩きます。

2021

と き: 2/21(日) あさ9:00~12:00(小雨実施)

集合場所: 西郷みらい館(掛川市上西郷2622)

コース: 西郷みらい館-五社神社-名字石-観音寺-平塚古墳-石ヶ谷氏霊堂大明神-音宮-西郷みらい館(約7.2km)

持ち物: ウォーキングができる服装、マスク

※参加無料(定員:25名)でペットボトル1本と塩飴が出ます。

※参加当日、ご自宅で検温の実施を行ってください。体調不良の方は参加をご遠慮させていただきます。

西郷みらい館まで掛川バスサービスをご利用の方は、掛川駅北口6番乗り場 富真線8:20発または原辰線8:30発に乗り 横江バス停下車後、徒歩5分

申込先: 掛川観光ボランティアガイド
猫の手の会

申込期限: 2月17日(水)まで

受付時間: 9:00~17:00

TEL: [Redacted]

FAX: [Redacted]

※申込みの際、氏名、住所、電話番号をお伝えください。

ボランティアガイドによる
イベント募集(令和2年度)

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
掛川銀行復元・活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	明治13年に設立した当初の姿を復元するため、明治18年の2代目掛川銀行の解体直前の写真や建物概要の記録などをもとに調査、検討を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
未着手			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.243)			

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況
サイン・案内板設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 万人にわかりやすいグローバルデザインのものに統一した、歴史文化・観光資産の紹介や案内看板を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は、掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、「掛川城周辺地区公共サイン整備方針」を策定した。また、整備方針に基づき庁内各課と協議の上、既存サインを含めた今後の整備内容を決定し、実施設計を行った。(令和3年度:実施設計、令和4年度～令和6年度:整備工事)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.244)

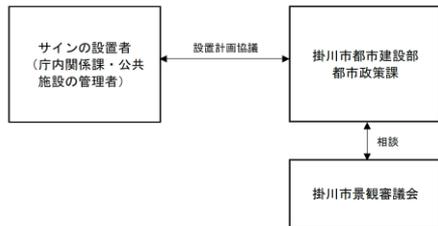
3 適用範囲

本方針の適用範囲は、対象区域内において掛川市及び公共施設管理者が道路、公園等に設置する歩行者用の案内サイン、誘導サインとする。
 ただし、掛川市が標識令に基づき設置する標識及び国、県等の公共施設管理者が設置する道路標識設置基準等に規定された標識類や、駅構内の独自のサインシステムにおける案内誘導サインなど、すでに一般に広く利用されており、本方針を適用することが難しいものは適用の範囲から除外する。

案内サイン	・地図を活用して現在地や施設等の位置情報を提供する
誘導サイン	・矢印により、地名・地点や施設の方向、距離等を指示する
位置サイン	・名称やピクトグラムにより、施設などの位置を告知する
説明サイン	・施設等の内容を説明する
規制サイン	・歩行者等の行動を規制する

4 運用方法

庁内関係課及び公共施設の管理者は、公共サインを設置しようとする場合、施工前に事前に掛川市都市建設部都市政策課と協議することとする。
 都市政策課は、本書に明記している事項と適合しているか否かについて確認し、必要に応じて助言指導する。判断が難しい場合、掛川市景観審議会に意見を求めることもできることとする。



サイン基本方針
(抜粋:運用)



関係課による検討の様子



サインデザイン(案)

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
レンタサイクルの推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 公共交通機関と連動したレンタサイクルについて、案内チラシなどによる周知、モデルコースの提案などにより、利用者の拡大を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成31年3月策定の「掛川市観光振興計画」において、掛川駅から掛川城等の主要観光施設の周遊を促すための、レンタサイクルの継続実施と利用促進が位置づけられており、計画的にレンタサイクルの利用者の拡大が図られた。掛川駅北駐輪場及び大手門駐輪場において無料で運用されているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客の減少に伴い、令和2年度は大幅に減少したが、令和3年度は496台の貸し出しと、前年度と比較すると若干増えた。

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.244)

基本方針8 掛川に行きやすい、居りやすい環境を整える

取組の柱(1) 広域交通の利便性の向上

具体的な取組① 富士山静岡空港からのアクセスの確保

- 「富士山静岡空港」利用者が本市を訪れやすいように、空港と「掛川駅」を結ぶ交通手段の確保を図ります。
- 空港や「静岡南港」への交通アクセスの向上及び「リニア中央新幹線」開通を見据え、「東海道新幹線掛川駅」への「ひかり」の停車について促進していきます。

具体的な取組② 広域道路の整備

- 広域の交通・交流を促す交通網の構築のため、国や県、市が連携し、国道1号バイパス(掛川・日坂)、国道150号、県道磐田掛川線の4車線化を促進します。
- 高規格道路を含む広域幹線道路間のネットワークとなる富士山静岡空港や小笠山総合運動公園等を結ぶ東・西横断道路の整備を促進します。
- 東名高速道路及び新東名高速道路へのスマートIC設置について、可能性を検討します。

取組の柱(2) 地域間の交通利便性や周遊性の向上

具体的な取組① 地域間道路の整備

- 地域間の道路網を強化するため、県と市が連携し、地域間幹線道路である、丸須賀ルート、大東ルート、掛川一御前橋ルートなどの整備を促進します。

具体的な取組② 公共交通によるネットワークの強化

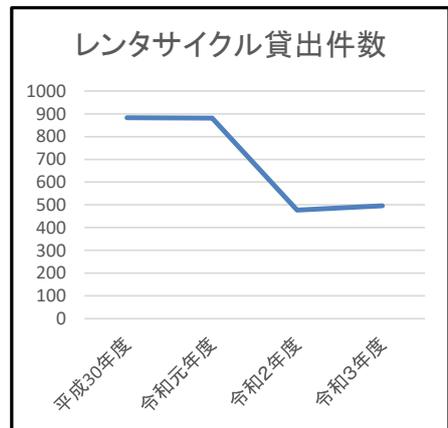
- 主要なバス停などを交通結節点とし、観光案内と公共交通の運行案内を一元的に提供する場を創出するなど、中心市街地・掛川駅と各道版の公共交通によるネットワークを強化します。
- 中心市街地は大型バスの駐車場が少ないため、これら駐車場の確保を検討していきます。

具体的な取組③ サイクリング環境の向上

- 掛川駅でのレンタサイクルの実施を継続するとともに、他の交通結節点や主要観光施設においても周辺への周遊を促すレンタサイクルの実施を推進します。
- 「バイク・フレンドリー・ステーション」(p.238参照)の設置に加えて、観光施設、飲食店、宿泊施設における安全な駐輪スペースの確保、自転車用ロードマップの作成などを進めます。



大手門のレンタサイクル



平成31年3月策定「掛川市観光振興計画(抜粋)」

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
掛川公園と周辺整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 掛川の歴史・文化ゾーンの中核である掛川公園及び三の丸広場におけるベンチ等休憩スペースの確保などの公園整備、周辺道路の歩道拡幅、街灯や公共サインの修景など、周辺環境を整備し賑わいを創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、三の丸広場隣接の市所有未利用地の利活用に向け、カフェの社会実験やワークショップを行った。令和元年度は、掛川城下の2地区(城内区・松尾町区)を対象に、住民とのワークショップを実施した。令和2年度は、まちなかウォークアブル推進事業の中で、有効な活用方法の検討を行った。令和3年度は、まちなかウォークアブル推進事業の中で、社会実験「かがわストリートテラス」を三の丸広場及び連雀西交差点の歩道で令和3年11月～令和4年3月まで実施した。

進捗状況 ※計画年度ごとの対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.245)



まちなかウォークアブルのイメージ
(居心地が良く歩きたくなるまちなか)



社会実験 かがわストリートテラス
広報チラシ



社会実験 かがわストリートテラス
開催の様子

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
「土の掛川城、農の報徳社、町人の松ヶ岡」周遊道路整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成31年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 掛川城周辺地区等には、多くの文化財及び文化施設が集中している。これらの施設を連結的に周遊できるウォーキングルートや案内・説明板を整備していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は、掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、「掛川城周辺地区公共サイン整備方針」を策定した。また、整備方針に基づき庁内各課と協議の上、既存サインを含めた今後の整備内容を決定し、実施設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.246)評価軸③-24参照:サイン・案内板設置事業

3 適用範囲

本方針の適用範囲は、対象区域内において掛川市及び公共施設管理者が道路、公園等に設置する歩行者用の案内サイン、誘導サインとする。

ただし、掛川市が標識令に基づき設置する標識及び国、県等の公共施設管理者が設置する道路標識設置基準等に規定された標識類や、駅構内の独自のサインシステムにおける案内誘導サインなど、すでに一般に広く利用されており、本方針を適用することが難しいものは適用の範囲から除外する。

案内サイン	・地図を活用して現在地や施設等の位置情報を提供する
誘導サイン	・矢印により、地名・地点や施設の方向、距離等を指示する
位置サイン	・名称やピクトグラムにより、施設などの位置を告知する
説明サイン	・施設等の内容を説明する
規制サイン	・歩行者等の行動を規制する

4 運用方法

庁内関係課及び公共施設の管理者は、公共サインを設置しようとする場合、施工前に事前に掛川市都市建設部都市政策課と協議することとする。

都市政策課は、本書に明記している事項と適合しているか否かについて確認し、必要に応じて助言指導する。判断が難しい場合、掛川市景観審議会に意見を求めることもできることとする。

```

    graph TD
      A[サインの設置者  
(庁内関係課・公共  
施設の管理者)] <-->|設置計画協議| B[掛川市都市建設部  
都市政策課]
      B <-->|相談| C[掛川市景観審議会]
    
```

1

サイン基本方針
(抜粋:運用)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財調査、保存管理(活用)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 市内には105件の有形・無形の指定文化財、4件の国の登録有形文化財、1件の国記録選択無形民俗文化財がある。有形文化財については現状を把握し、適切な保存・活用を実施する。3件の国指定史跡については各保存管理計画に沿って、適切な保存整備を行い、県、市指定の史跡は現状を確認し、適切な対策を講じる。無形民俗文化財については後継者の指導育成等について支援を行うとともに、保存伝承の手助けとするため記録作成等の調査を実施していく。また、未指定の文化財については悉皆調査を実施し、必要に応じて指定等の措置を講ずる。市内に約700件ある、埋蔵文化財包蔵地については、文化財保護法に基づき適切な保護、保存措置を講じていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国史跡の内、横須賀城跡については、三の丸整備に向けた資料収集のため確認調査を実施した。整備計画の一部見直しの準備のため、整備委員会を開催した。和田岡古墳群の内、吉岡大塚古墳については、平成29年度から整備工事に着手しており、令和3年度はトイレ、四阿といった便益施設を整備し、整備完了後の墳丘上に設置する埴輪を作成した。埴輪作成には市民が参加し、埴輪の製作、焼成までを体験した。
 市内に4件ある県指定無形民俗文化財の保存会に対して補助金を交付し、支援を行った。(評価軸③-7、8参照)
 国記録選択無形民俗文化財「三熊野神社大祭の祢里行事」の令和2年度から調査委員会を組織し、民俗文化財調査に着手している。(評価軸③-8参照)
 住宅建築等の開発に伴う遺跡確認調査を30件実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.208~P.215)



横須賀城跡三の丸発掘調査



埴輪政策体験の様子(左:製作体験、右:野焼き体験)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財の修理、周辺環境整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の修理については、日頃の維持管理を含めた予防対策と被害を受けた場合の適切な修理、復旧が求められる。その価値を維持するため、過去の記録などを活用し、新たな調査研究に基づき実施する。所有者の財政的負担の軽減のためにも積極的に各補助制度を活用する。文化財を保存・活用しながら展示できる個別施設や、総合的な情報発信の拠点整備が必要である。また、文化財単体にのみ措置を講ずるのではなく、周辺環境と一体的な措置を講じることが必要である。文化財は災害などにより毀損、滅失する恐れがあることから、個別に防災対策を検討し被災リスクを軽減していくと共に、文化財に対する防災知識の普及、防犯に対する意識の向上なども図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定建造物松ヶ岡(旧山崎家住宅)の修復工事に着手し、令和3年度は主に瓦の葺き替え工事等を実施した。(評価軸③-3)
 国史跡高天神城跡にて、風雨等の影響で土砂が流失している遊歩道の補修を行った。(評価軸③-5)
 県指定建造物「龍華院大猷院霊屋」において、所有者が県補助金を受け、防災施設保守点検事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



瓦の葺き替え工事(松ヶ岡)



龍華院大猷院霊屋

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財の普及・啓発、防災訓練、団体との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の保存・活用、普及・啓発のため、統一的な案内板の設置、パンフレットの作成、配布を行うとともに観光ボランティアガイド活動の育成やイベントなどを開催する。また、文化財の展示会や講座などを開催し、市民にとって文化財が身近で必要なものになるよう郷土の歴史・文化・文化財についての理解を深めてもらう。文化財の保存、管理及び活用について行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存、管理及び活用に取り組んでいる団体と連携することが必要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

一般市民を対象とした、「出土文化財展」、小中学生を対象とした、「出前文化財講座」、「夏の文化財教室」を実施した。(評価軸③-21参照)
 文化財防火デーに合わせ、県指定建造物「龍華院大猷院霊屋」、重要文化財「掛川城御殿」で防火訓練を行った。また、重要文化財「大日本報徳社大講堂」において、令和2年度に設置した防災施設を使った放水訓練等が行われた。
 市指定建造物である「松ヶ岡」では、月一回の一般公開に合わせて、地域住民を中心に組織された「松ヶ岡を愛する会」が清掃等を実施している。市指定史跡「平塚古墳」の保存会が行う、維持、保全事業に対して補助金を交付した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



文化財防火デー(龍華院: 令和4年1月18日)



文化財防火デー(報徳社: 令和4年1月27日)



松ヶ岡での清掃活動

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	令和3年度
	年月日	掲載紙等
新聞		
お囃子2年ぶり奉納 掛川で三熊野神社大祭～名物祢里は自粛	令和3年4月4日	静岡新聞
「松ヶ岡」清掃100回を記念 掲示板設置し施設PR	令和3年6月27日	静岡新聞
愛する「松ヶ岡」心込め清掃100回	令和3年6月29日	中日新聞
掛川の図書館 縄文期など文化財展(出土文化財展)	令和3年7月3日	中日新聞
瓦に名前 文化財保存に貢献(松ヶ岡)	令和3年10月13日	朝日新聞
文化財松ヶ岡の瓦 名前残しませんか	令和3年10月14日	中日新聞
「松ヶ岡」瓦にメッセージ 修復費用寄付で受け付け	令和3年10月20日	読売新聞
瓦にメッセージ残そう「松ヶ岡」修復で寄付募集	令和3年10月21日	静岡新聞
街道沿い民家で「文化展」今年も規模縮小 明日まで掛川・横須賀	令和3年10月23日	静岡新聞
風紋 粟ヶ岳市道事故・観光振興と安全 両立を	令和3年10月27日	静岡新聞
思い、願い文化財の瓦に 掛川中央小6年生 旧家修復合わせ表現	令和3年11月3日	静岡新聞
掛川・西本町「ちいねり」中止で代替 思い出作りお囃子披露	令和3年11月4日	静岡新聞
報道サミットオンライン開催 掛川拠点に全国17市町参加	令和3年11月13日	静岡新聞
掛川歩道、広場にベンチ 静岡理工科大学生がデザイン	令和3年11月24日	静岡新聞
お囃子来年こそ 掛川横須賀 地区保存会 大須賀中で太鼓指導	令和4年11月28日	静岡新聞
円筒埴輪作りに挑戦	令和3年12月27日	静岡新聞
葛布壁紙をアートに 多摩美術大院生ら制作	令和4年1月22日	中日新聞
火災から文化財守れ 掛川・大日本報徳社で訓練 消火栓、放水銃新たに導入	令和4年1月30日	静岡新聞
「鈴木家住宅」に登録プレート	令和4年2月4日	静岡新聞
文化財登録プレート伝達	令和4年2月4日	中日新聞
三熊野神社大祭の祢里3年ぶり実施 掛川で来月	令和4年3月17日	静岡新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致に関連する施設や行事の特集や、今後に繋がる取組が報道されたことにより、市民等への本市の歴史まちづくりの周知が図られたとともに、関心を高めることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

観光の振興

計画に記載している内容 関連計画「掛川市都市計画マスタープラン」において、「観光資源や歴史・文化的資源を活かしたまちづくり」が将来都市像に位置付けられている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

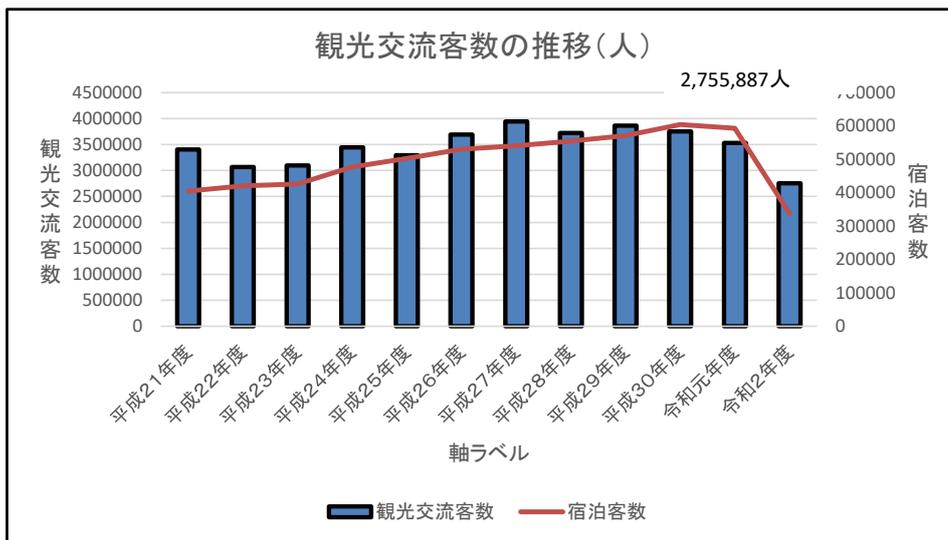
観光ニーズが多様化するなか、本市の特性や資源を活かした個性光る観光に取り組み、交流人口を拡大し観光振興さらには地域活性化に繋げるため、平成31年3月に掛川市観光振興計画を策定した。
観光交流客は、景気低迷や地震、冷夏長雨の影響により、平成20年度(3,896千人)から平成22年度(2,929千人)にかけ大きく減少した。その後は概ね増加傾向にあったが令和2年度は新型コロナウイルスの流行が影響し(2,755千人)にとどまった。宿泊客数も年々増加傾向にあったが、令和2年度は大きく減少し(338千人)にとどまった。
掛川城入館者は、平成20年度以降、毎年10万人程度で推移していたものの、平成25年度から増加に転じた。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により大きく減少し、(55千人)にとどまった。

進捗状況 ※計画年次との対応

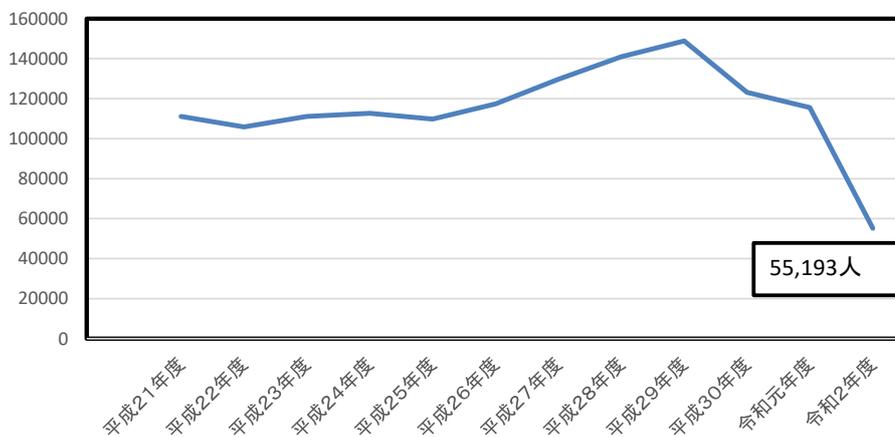
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



掛川城入館者数の推移(人)



評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
<p>会議等の開催日時： 令和4年4月20日(水) 午後2時から午後4時</p> <p>(コメントの概要)</p> <p>【①組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【②重点区域における良好な景観を形成する施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物について、京都市のように好事例を表彰するなどの制度があると周知にもつながりよい。 <p>【③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイン整備事業については、景観という要素以外で誘導の戦略にもつながるもの。掛川城周辺で先行して整備事業が進んでいるが、その他の地域でも誘導すべき施設の整備等が進んでいるのこともあるので、様々な課題と合わせて、市全体で検討を進めていただければより良いものになると思う。 ・粟ヶ岳周辺の案内サインやハイキングコースの危険な箇所について、整備をお願いしたい。 ・粟ヶ岳周辺については、重要文化的景観としての要素もあるので、利便性や安全性と配慮しながらも景観の要素についても考えて取り組んでほしい。 ・全体の事業の中で、整備等を行う事業については、スケジュールが掲載されるとわかりやすい。 ・重要文化的景観については、十分に地域住民への説明を行ってほしい。 <p>【④文化財の保存又は活用に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存活用団体等が、自分たちの活動を発表できるような機会があるとよい。 <p>【⑤効果・影響等に関する報道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【⑥その他(効果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【全般に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の周知といった部分で足りないところがあるので、掛川市の公式ライン等を利用するとよい。 ・行政組織内でも複数の部署がかかわる事業等については、まとめて協議ができたり、窓口が1つになるようにしてほしい。 ・文化財保護活用地域計画を策定することで、文化財保存活用団体の指定ができることとなり指定団体の連携について、行政からの支援できるとよい。 ・登録文化財の所有者や、文化財保存活用団体などが抱える課題などについて情報共有できる場を設けてほしい。 <p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物についての表彰制度等好事例の紹介による屋外広告物条例の周知方法を検討する。 ・市域全体のサイン整備の方針等については、掛川城周辺の公共サイン整備方針の運用を進めながら、徐々に範囲の拡大を検討する。 ・粟ヶ岳周辺の整備については、これまで行っている対策も含め、担当課にも共有し、景観に十分配慮しながら引き続き検討を進める。 ・整備事業関係については、可能な範囲で整備スケジュールを記載する。 ・重要文化的景観については、事前調査の段階であるため、今後地域住民への内容周知とともに選定に向けた検討を進める。 ・文化財保存活用団体等の連携や情報共有の場の提供等については、今後作成する、文化財保存活用地域計画の中で、どのように位置づけができるか等について検討する。 	